

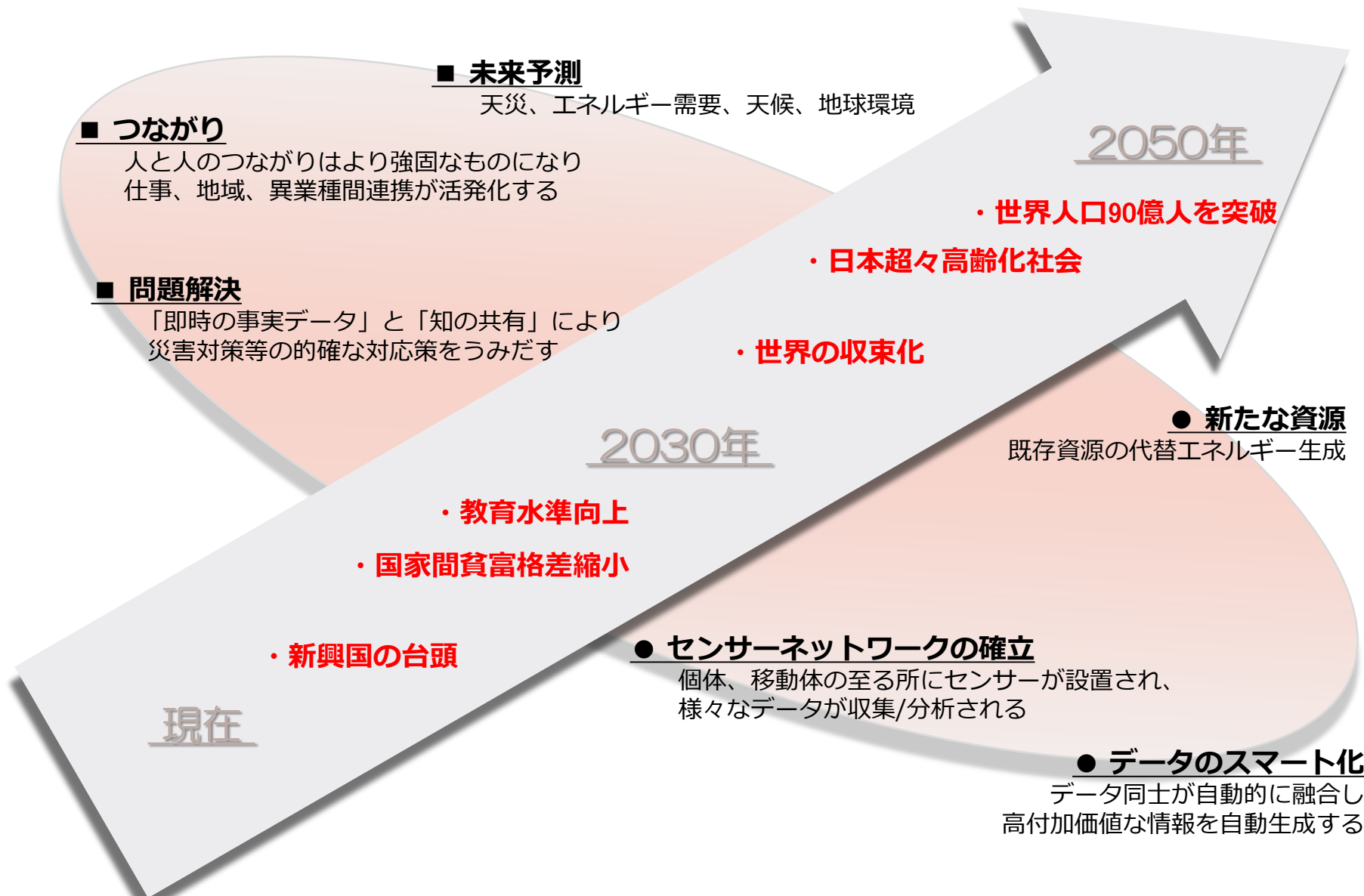
ICT生活資源対策会議 第3回

豊かで暮らしやすい社会に向けて ～ ICTによる「つながる」基盤づくり～

平成25年1月24日

日本ユニシス株式会社
代表取締役 専務執行役員
角 泰志

これからの世界はどうなる？



新成長戦略に掲げられた「環境未来都市」構想に提案された 「神戸市環境未来都市構想」

～神戸市 環境未来都市構想～



【環境】
大規模太陽光発電など「クリーンな創エネ」と、電気と熱を一元管理するスマートエネルギーネットワークの構築などの「スマートな省エネ」により、神戸産クリーンエネルギーの地産地消を総合的に推進する。

【超高齢化対応】
 全てのライフステージを通じた健康づくり、介護予防の推進、安心な支える基盤の整備などを通じて、高齢者が元気に社会参加でき、安心して出産・子育てができる都市の実現を総合的に推進する。

【その他】
 神戸医療産業都市、京速コンピュータ京など「知の集積」を活用した国際化の推進・地元企業の活性化を推進する。

＜マスターシティ＞

先端エネルギー技術を駆使してゼロエミッションのエコシティを目指す
アラブ首長国連邦 (UAE) 都市開発計画によって建設されている都市

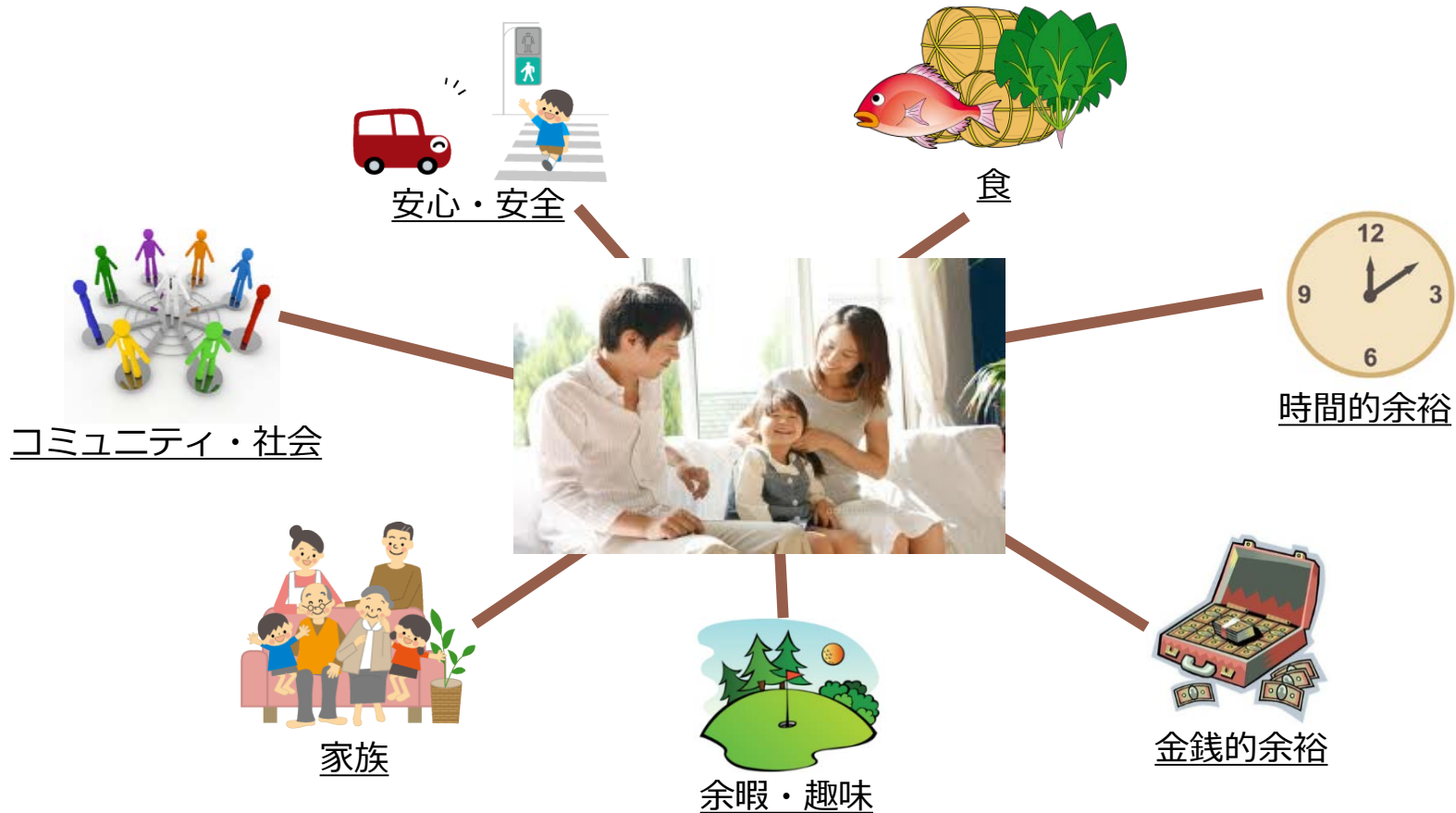
太陽エネルギーやその他の再生可能エネルギーを利用して持続可能なゼロ・カーボン（二酸化炭素）
ゼロ廃棄物都市の実現を目指す都市



マスターシティは

1. 究極の環境未来都市を目指した「マスター・シティ」の建設
 2. 再生可能エネルギー研究の世界拠点の創設
 3. 世界の再生可能エネルギー事業に投資
- という3つの事業を「再生可能エネルギー」を中核として推進中

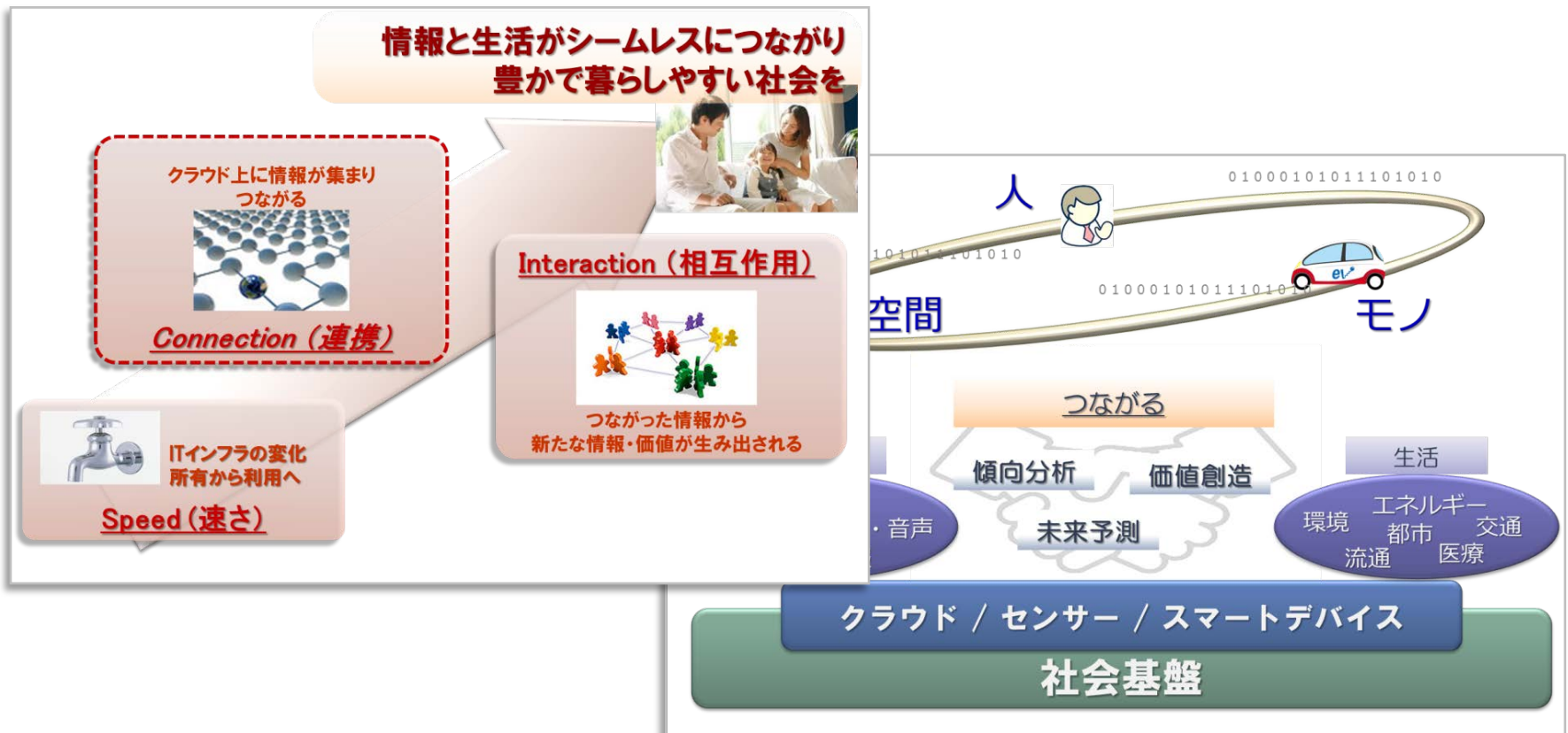
豊かで暮らしやすい社会とは？



マズローの欲求段階説：生理的欲求、安全の欲求、親和の欲求、自我の欲求、自己実現の欲求

ICTによる「つながる」基盤づくり

※つながる基盤 → 「人」、「モノ」、「空間」、そして「情報」がシームレスにつながる社会基盤



日本再生・共創の国・Made in Japan・日本発信

豊かで暮らしやすい社会

コミュニケーション

傾向分析

可視化

未来予測

価値創造

つながる基盤

情報基盤 (ICT)

社会基盤

生活資源 (エネルギー)

1. 「豊かで暮らしやすい社会」の再定義

2. 現在実施されている活動を整理し、連携する

- ・ すでに実現された活動
- ・ 現在実施中の活動、研究開発中の活動
- ・ 予定されている活動、新たに取り組むべき活動

3. 1の実現に向けた具体的な活動計画

→ 「実証検証プラン策定」

完全ペーパーレス、省エネ、ゴミゼロタウン、ITS、資源循環型システム等々
様々な活動におけるノウハウとメリットを連携させた、豊かで暮らしやすい
街作りを実現 → 「究極のスマートシティ」

U & U

Users & Unisys

UNISYS